

## IF 学生成果発表会② 感想

「代謝ストレスとがん」グループ 9/2

学位申請の前に、様々な分野の先生の前で英語で発表できましたことは、私にとりまして大変貴重な経験となりました。諸先生に様々な角度からアドバイスをいただくことができ、自分の研究について改めて考えさせていただく機会となりました。また、他の大学院生の皆様の発表を聞かせていただき、レベルの高さに驚きの連続でした。お忙しい中、御指導くださいました岡芳知教授、五十嵐和彦教授、お集まりいただきました諸先生、拠点支援室の皆様には、深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

齋藤 徳郎 (分子代謝病態学)



“IF 学生成果発表会” 2回目のこの日は、4名が英語で発表しました。

発表者以外にも多数の方が集まり、冒頭の五十嵐教授の言葉どおり、終始活発な質疑応答が行われました。



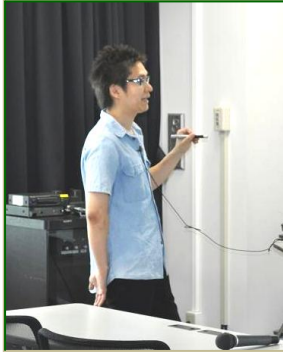
いろいろな研究発表を聞くことができ、大変勉強になりました。研究のまとめ、プレゼンテーションの練習の場ともなり、今後に活かしていきたいと思います。また機会があればぜひ参加したいです。ご指導下さいました先生方にお礼申し上げます。

太田 一成 (生物化学)

他の分野の先生方の研究内容を知り、気軽に質疑応答ができる機会は、これまでありそうでなかなかありませんでしたので、今回の成果発表会は私にとっても大変刺激になりました。平素当研究室では行っていないような解析法や、異なる面から発表内容をとらえた質問も多く、とても興味深く、今後の自分の研究にも活かせるのではと思いながら傾聴していました。また、発表の場を与えていただき、研究結果をまとめる良い機会となりました。開催にご尽力いただきご多忙なところ貴重な suggestion をいただきました NM-GCOE の先生方、拠点支援室の皆様本当にありがとうございました。

薄井 正寛 (分子代謝病態学)





自分がやっていることと全く別の分野のお話というのはとても新鮮で多くの刺激を受けました。また、あまり人と話すこともなく、日々黙々と実験をしていると、なんとも言えない孤独感にさいなまれたりすることが多々あるのですが、今回、同じような立場の方の発表を聞くことができ、他の皆も頑張っているから 自分も頑張ろうという気になれたのがありがたかったです。

富永 竜 (分子代謝病態学)

他研究室の院生の精力的な研究のお話を拝聴でき、とてもよい刺激になりました。

また、私自身は初めての英語での発表で戸惑うことも多かったのですが、とても勉強になりました。

このような機会を与えて下さり、誠にありがとうございました。

中目 亜矢子 (生物化学)



自身にとって初めての英語発表の機会になったことは勿論、他分野の熱心な研究活動の実際を伺い知ることができたことや、自身の研究内容についてもご指導を頂けたことなど、非常に有意義な時間を過ごすことができたと感謝しております。このたびはこのような機会を設けて頂き、本当にありがとうございました。

鈴木 俊伸 (再生治療開発)



今回のような機会を与えていただいたことで、研究結果をまとめる良い機会となったのはもちろん、自分の研究をどのように説明するべきか 改めて認識するのに大変貴重な場でした。このような場をあたえていただいた皆様、参加していただいた皆様、そして サポートしていただいた五十嵐研究室の皆様はこの場を借りてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

田中 拡 (生物化学)



発表者の皆さん、お疲れ様でした。